



# 森ボラ 通信

第110号 2011年7月20日発行  
NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>  
札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6ラルズビル3F

Tel.(fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

## トピックス

### ◆ 西野第二環境林活動完了 >> 札幌市都市環境林整備活動 <<

西野第二環境林は2004年11月25日最初の台風被害調査に入ってから2005年春から活動に入った。

2004年秋の台風によってニセアカシアがバタバタ倒伏してあたかもマッチ箱をひっくり返した状態であった。「稚樹救出作戦」の名の下に外来種ニセアカシアを退治して伝統樹種の稚樹を守る作戦が展開された。その当時、石狩森林管理署も北大も外来種駆除に熱心であったことにも影響を受けて活動は続けられた。地元で反対する人が現れ町内会長に説明したりなどもあった。



2005/6/16  
倒伏したニセアカシアの根株と切り整頓した枝。



2011/5/31  
ヤチダモは人の背丈を軽く越して伸びてきた。根株のなごりが少しみえる。

そして本日2011年5月31日最後の活動となった。写真のようにあの荒れ果てた環境林は背丈を



越すほどに郷土樹種が伸びてきたのです。ヤチダモ優勢のハルニレ、ミズナラの森になりつつあります。森がこれだけ暗くなればもうニセアカシアの侵入する余地はありません。

会員のみなさん、約6年間に亘ってどれだけニセアカシアのトゲが手に刺さったことでしょうか。森林ボランティア活動は農業のように毎年収穫があるわけではないのでなかなか達成感が得られないがこの写真で達成感を味わいましょう。(記・酒井)

### ◆ CGCの森3年間の植樹活動報告

2004年の台風で壊滅的被害を受けた17,82haの地に2009年から3年間かけて針葉樹、広葉樹あわせて約9,600本を植栽しました。第一ステップの3年間の植樹作業は終え、第二ステップとしてこれから4年計画で補植、下草刈り等の育林作業に入ります。

第一ステップの3年間で4回の植樹祭に参加された方は延べ約260人。そして北海道ボランティア協会会員の延べ作業日数は47日間、延べ参加人数は584名となりました。

株式会社北海道シジシー、石狩森林管理署、北海道CGCグループ、全国CGC環境委員、オイスカ北海道支部、ユネスコ協会、北海道CGCみどりところの基金事務局の皆様にご感謝すると共に、黄色いヘルメットの協会員の皆さんご苦労様でした。(記・事務局)

《年度別樹種植栽本数》

樹種	2009年	2010年	2011年	計	N:L
トドマツ	2,546	3,482	0	6,028	6,028
ミズナラ	292	365	520	1,177	3,575
ヤチダモ	299	253	670	1,222	
ハルニレ	303	412	0	715	
イタヤカエデ	298	0	13	311	
イヌエンジュ	0	0	150	150	
計	3,738	4,512	1,353	9,603	63:37

■ 現場より

◆ 石狩森林V4 団体の交流会 >> 支笏湖国立公園国有林 5456 林班で開催 <<

5月20日・21日、支笏湖「CGCの森」で、NPO・いしかり森林ボランティア「クマゲラ」(4名)、NPO・北広島森林ボランティア・メイプル(4名)、NPO・藻岩山きのご観察会(5名)そしてNPO・北海道森林ボランティア協会(17名)の石狩管内森林ボランティア4団体の交流会を1泊2日コースで開催。総勢29名が集まりました。

参加のみなさま、お疲れ様でした。

我々が目指している森作りのコンセプトと、植栽状況等について酒井代表幹事から紙芝居形式での説明は判りやすく好評でした。続いてKYT(キケン・ヨチ・トレーニング)による作業の安全確認とラジオ体操で身体をほぐし、約18haの下草刈り作業は、草刈機部隊と手鎌グループに分かれ作業開始。



今回参加の皆さんは森作りのプロの様な方が殆どの上、休む事も忘れて汗を流してくれましたので想像以上に作業ははかどりました。

この森で最もきつい自力地拵えエリア2haの下草刈りは5班に分かれツボ刈りの作業でしたが2時過ぎには完了しました。又草刈機部隊は縦横に広がった作業道の下草刈りを終えた後、各団体の紹介と情報交換会を青空の下で開講しましたが、ボランティアの目指す方向性、個々の地域性を確認出来ましたことはお互いを感化するのに十分な情報の場でした。

旅館に戻り温泉で汗を流し、喉を潤したビールと食事はまた格別な味でした。皆さん結構なお年で9時ぐらいには夢の中。極一部の方は話に花が咲いた様です。

翌日は23名体制で残りの機械地拵えエリア16haの下草刈りでしたが、昨日の疲れもなく!26小班を5班(4名)に別れての作業を黙々とこなし、無事2日間の合同野外研修を終えました。

またこの様な機会を見つけてボランティアの交流の場としたいものです。(記・事務局)

◆ 市役所緑の管理課が澄川環境林訪問(6月17日(金))

6月17日午後、札幌市環境局みどりの推進部みどりの管理課緑地維持係長と技術職員2名にて澄川都市環境林を訪問されました。

活動状況説明を含め、酒井代表幹事および市山事務局長の2名にて環境林内を案内。駐車場から旧遊歩道を下りて、近道回廊の精進川を渡り、二本仕立て受光間伐地、台風被害現況保存地、再生樹木園、木道4ヶ所、サクラ保存候補地などを総合的に案内しました。(記・酒井)

## ◆ 森林ボランティア「ステップ・アップ事業講習会」に参加して

6月28日（火）、北海道石狩振興局産業振興部林務課主催の第1回講習会に参加してきた。今年度の事業計画では森林機能講習が3回の他、施業計画の作成、児童対象の森林教室の開催が予定されている。講習会は当別町・道民の森・神居尻で行われ、当協会から6名の他北広島メイプル等から12名、札幌市森林組合から1名が参加し、森林機能評価方法と山菜の見分け方を中心に座学と現地演習が行われた。

現地演習では様々な機器を使った樹高測定方法が説明され、簡易な方法として、長さ30cmの棒を手に持ち、目線と水平距離から樹高を算出する方法が小学生の森林教室で使えると感じた。胸高直径の計る位置は北海道では1.3mであるが本州では1.2mとのことだった。

最後に教室に戻り木材生産機能の評価方法を教わったが、現地で感じたアカエゾマツの植林地の状況と少し差があると感じた。今後の講習会にも参加して森林機能の理解を深めたいと思う。

（記・榎棒）

### ■ ひとこま

はなすぐり

## ◆ 摘花於斎藤林檎園〈花ヲ斎藤林檎園ニ摘ム〉

5月下旬から斎藤林檎園で行われている摘花（花選り）作業に、5月27日から時折参加しています。林檎の花は、一カ所から出る花房の真ん中の花（中心花）が最初に開き、実もこの花のものが一番大きくなるのだそうです（写真1）。そのため、林檎園では、この中心花を残し、周りの花を全て摘んでしまいます。また、育てている最中の若い枝（二年枝まで）は太さも足らず良い実がならないので、中心花でも皆取り除きます。

こうした作業を5月から7月にかけて行います。（最後の頃は、「摘花」から「摘果」になります。）作業をしているうちに、梯子の上にも草の上にも、花や蕾が散り敷いていました（写真2）。

同じ林檎の花でも、木の立つ場所や品種によって、咲く時期が少しずつずれ、作業もその流れに沿って行われているようです。花姿も品種によって微妙に違ってきます。アカネ、アサヒなどの花は柄が短く、花びらも丸みがあって可愛らしい感じですが、ゴールデンデリシャスやジョナゴールドの花は柄も長く花びらも細身に心なしかハイカラでした（写真3）。また、花びらの紅味の差し方も、品種によって異なります。一般に蕾の頃はピンクが濃く、開くに従って白いお花になってゆきます（写真4）。

摘花・摘果は、美味しい林檎を作るためには最も大切な仕事なのだそうです。やってみると根気のいることではありますが、不思議と無心になれ、心洗われる作業でもあります。

また、林檎園の斎藤さんご夫婦や、他のボランティアの皆さんとお喋りをしながら働くのは楽しく、特に晴れた日には風景もすがやかで、気持ちよく参加させていただいています。（記・深町）



## ■ 今月の幹事会

出席者：市山・荻田・樫棒・酒井・高野・津金・釣井・西野(梯)・矢澤・和田  
審議および決定事項

- 1 8月スケジュール・・・微調整、8・9月確認
- 2 野幌道有林間伐の対応・・・酒井
- 3 (株)ローソン助成事業進捗対応
- 4 下草刈り作業・・・CGC (18・19日)、コンサ (24日) 当別 (27日) ぶんぶん (29日)  
現場状況と作業対応
- 5 委員会活動報告 広報 (HP、パンフ他)、業務 (作業計画他)、助成 (申請状況他)、研修・  
企画 (幌南小の対応、研修旅行他)
- 6 札幌市環境局みどりの推進課・・・グリーン・コーディネーター参加の件
- 7 澄川活動地・・・始業・終業点検 (道具、整理整頓) 徹底のためのルール作り
- 8 炭焼き研修の準備
- 9 10周年記念事業の検討

## ◆ 緑の基金 「ローソン環境保全・社会貢献支援事業」助成決まる

澄川都市環境林環境保全活動に(株)ローソンからの支援助成が決まりました。7月14日フィールド管轄の札幌市市民活動推進担当課と共に北海道ローソン支社を訪問、事業のコンセプト並びに活動内容を説明、活動実施を確認してきました。有難う御座いました。

## ■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
6月18日(土)	澄川	12	トイレ作り
6月20日(月)	CGCの森	17	石狩森林V4団体交流会・下草刈り
6月21日(火)	CGCの森	15	下草刈り
6月23日(木)	澄川	14	トイレ作り
6月28日(火)	澄川/道民の森	9/6	トイレ作り/ステップ・アップ研修
6月29日(水)	澄川(有明)	7	作業道整備
6月30日(木)	セブン・イレブンの森	10	下草刈り
7月2日(土)	コンサ100年の森	10	下草刈り
7月6日(水)	澄川	9	木工・看板
7月7日(木)	道新ぶんぶんの森	8	マーキング、下草刈り
7月8日(金)	藻岩幌南の森(幌南小)	8	下草刈り。(野外学習9/2に延期)
7月9日(土)	道新ぶんぶんの森	10	植樹祭。枯損木調査
7月11日(月)	幹事会	10	定例会議
7月12日(火)	澄川	16	木道整備
7月15日(金)	白旗山	3	ステップ・アップ研修

※リンゴ園活動(花摘み・摘果)：(6/24(2)・6/25(6)・7/1(5)・7/5(7)・7/7(5)・7/13(7)・7/15(9))

## ◆ 道新ぶんぶんの森・第5回植樹祭

7月9日(土)晴天に恵まれた中で支笏湖ぶんぶんの森に約80名が集まり植樹祭が行なわれました。昨年暮れの大雨で林道が決壊して、通常より遅いこの時期になりました。

協会、棟方さんの植栽指導の後、トドマツのポット苗400本を7班に分かれ汗を流しながらの作業となりましたが、1本、1本丁寧に植え付けをして皆さん満足されていたようです。参加した子供達の成長と共に素晴らしい森に育つ事を祈っております。(事務局)

